カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN
会報

≪2013年6月号（503号）≫

目　　次

報　告
・常任司教委員会 …… 1
・「司牧の手引き」編纂特別委員会 …… 3
・難民移住移動者委員会 …… 3
・カリタスジャパン …… 4
・正義と平和協議会 …… 7
・部落差別人権委員会 …… 9
・統一協会問題キリスト教連絡会 …… 10
・部落問題に取り組むキリスト教連帯会議 …… 10
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク …… 11
・HIV/AIDSデスク …… 11
・中央協議会事務局（総務）…… 12
公文書 …… 13

常任司教委員会

■4月定例常任司教委員会

日　時　　2013年4月4日（木）10：00－13：40
場　所　　日本カトリック会館　会議室2
出席者　　委　員　7人
　　事務局　8人

報　告

1.　教皇フランシスコ就任ミサについて

3 月 19 日(火)午前 9 時 30 分（日本時間 17 時 30 分）から、サンピエトロ広場で行われた、教皇フランシスコの就任ミサに日本カトリック司教協議会代表として参列した池長 潤会長から報告が行われた。

2.　『第二バチカン公会議公文書　改訂公式訳』刊行について

現在、『第二バチカン公会議公文書　改訂公式訳』の司教による校閲を行っているが、当初の予定であった 5 月の刊行が難しい状況となったことが報告され、司教による校閲が終了した段階で、常任司教委員会で刊行承認を行うこととした。

3.　2013 年度カトリック中央協議会新規採用者ならびに人事異動について

カトリック中央協議会事務局の 2012 年度退職者および 2013 年度の新規採用者、異動者が報告された。

4.　東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。3 月 31 日現在のカリタスジャパンへの募金は、785 百万円、国際カリタスからの募金が 895 百万円で計 1680 百万円、援助金支出は、1097 百万円となった。

5.　中央協議会口座の義援金残高について

3 月 31 日現在の中央協議会口座の東日本大震災関連・義援金残高報告が行われた。義援金総額は 73,350,693 円、支出合計は、30,345,901 円、残高は 43,004,792 円となった。

審　議

1.　次回シノドスのテーマについて

次回、第 14 回シノドスのテーマとして、日本カトリック司教協議会から、「若者とともに歩む教会」と「キリスト者が諸宗教者と協力して果たす使命」を提出する。

2.　2013 年度「司教の集い」の準備について

2013 年 6 月定例司教総会中に開催する「司教の集い」のテーマを「地上の平和」に変更し、教皇ヨハネ二十三世の DVD 鑑賞、基調講演、フリーディスカッションを軸として、プログラムを再編成する。

3.　2013 年度日韓司教交流会について

日韓司教交流会日本側窓口の松浦悟郎司教から提案された、2013 年度日韓司教交流会の開催に関する内容を承認した。開催地は金沢、内容は「地上の平和」について取り上げる。

4.　日本カトリック信徒宣教者会顧問司教について

日本カトリック信徒宣教者会の顧問司教として、高松教区・諏訪榮治郎司教が就任することを承認した。なお、任期は、2013 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日とする。

5.　福者コルカタのテレサの記念日について

福者コルカタのテレサの記念日を日本の典礼暦に加える提案については、他の修道会の創立者の記念日の扱いとの整合性を考慮し、任意の記念日として日本の典礼暦に加えることは現時点では控える。なお、各司教の判断にもとづいて福者コルカタのテレサの記念日を祝うことができるように、典礼委員会の協力を得て、朗読箇所や祈願を整える。

6.　中央協議会発行出版物の企画について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと、出版企画書を承認した。

①書籍名　平和憲法を守り、活かしていくために
　編　者　社会司教委員会
　内　容　憲法 96 条周知のためのパンフレット

②書籍名　奄美のカトリック迫害と上智大学生神社参拝拒否事件（仮題）
　編　者　日本カトリック正義と平和協議会

内　容　第2次世界大戦中、日本の軍部によるカトリック教会、カトリック学校に対する迫害を検証したカトリック20条の会主催の講演記録

「司牧の手引き」編纂特別委員会

■2012年度第7回委員会

日　時　　2013年2月27日（水）13：00－16：00
場　所　　カトリック広島司教館　集会室（広島市）
出席者　　5人

報　告

1. 臨時司教総会報告
   臨時司教総会で常任司教委員会の指示を受けた作業の進ちょく状況を報告した。
   常任司教委員会から指示された「判断のヒント」作成のための具体案については、過去にNICE特別委員会で出された意見や本日の配布資料から次回定例会までに事務局で整理する。
2. 新年度委員増員の可能性について
   現在打診中の候補者は、諸般の事情で当委員会に協力してもらうことは難しい状況である。委員は現在長崎管区だけで構成されているため、各管区から構成されるよう新たな候補者を挙げる。
3. その他
   前田委員長が次期常任司教委員会委員に選任されたことに伴い、当委員会活動の円滑化が見込まれる。

審　議

1. 『司牧の手引き・婚姻』改訂案に対する校閲者からの意見の反映について
   各教会管区裁判所の担当者、神学院講師および宮原司教の校閲を本文に反映させる作業を行った。訂正案は事務局で整理し、次回定例会で配布する。
2. 『司牧の手引き・婚姻』にかかわる司牧者によって対応の異なる事案について
   作業時間不足のため、昨年のアンケート結果とNICE特別提案委員会資料等の中から事務局で抽出・一覧化し次回定例会で検討する。
3. その他
   (1)『司牧の手引き・婚姻』に共同宣教司牧のことが反映されていないとの意見があった。共同宣教司牧における主任司祭の権限等は教区ごとに実情が異なるので、教区担当者に問い合わせるよう明記する。
   (2)前田委員長の常任司教委員会委員就任に伴い、当委員会の定例会議日程のうち、第4回定例会を10月2日(水)13:00－16:00　日本カトリック会館(東京・江東区)に変更する。

次回委員会　　2013年4月10日（水）14:00－17:00　カトリック広島司教館

難民移住移動者委員会

■2012年度第3回AOS船員司牧コア会議

日　時　　2013年3月5日（火）9：00－12：00
場　所　　日本カトリック会館　会議室4

出席者　　7人

審　議

1.　全国担当者およびコアメンバーの任期について
2013年8月末をもって、全国担当者およびコアメンバーの任期が満了となることを確認した。
2.　2013年度AOS全国会議開催について
会議の日程、開催場所などについては、全国担当者およびコアメンバーが交代してから検討する。
3.　2013年度AOS研修会開催について
全国会議同様、全国担当者およびコアメンバーが交代してから検討する。

■2013年度第1回事務局会議

日　時　　2013年2月26日（火）10：30－12：00
場　所　　日本カトリック会館　会議室5
出席者　　5人

報　告

「2013年度公開講演会」について
5月7日(火)午後3時−4時45分、幼きイエス会ニコラ・バレ修道院にて開催される「2013年度公開講演会」の進ちょく状況について報告があった。講師は、山岸素子さん(移住女性のためのエンパワメントセンター〈カラカサン〉共同代表)で、『ハーグ条約と移住(外国人)女性と子どもへの影響』と題し、日本がハーグ条約に加盟した場合、日本に定住する移住女性とその子どもが受ける重大な影響について話を聞く。

審　議

1.　「第1回定例委員会」の議題について
5月7日(火)午後に開催される「第1回定例委員会」の議題について、詳細確認を行った。
2.　「2013年度世界難民移住移動者の日」について
9月22日(日)の「世界難民移住移動者の日」のポスターの作成について、検討を行った。
3.　委員会援助金について
2013年度より委員会援助金の申請は、原則として仮放免保証金補助を目的としたものとする。

カリタスジャパン

■第6回啓発部会会議

日　時　　2013年3月6日（水）13：30－16：30
場　所　　日本カトリック会館　会議室3
出席者　　11人

報　告

1.　事務局報告
・東日本大震災対応
ベースの活動が中心になってきており、個々の援助申請件数は減少してきている。成井大介師が2013年3月で仙台教区サポートセンターの事務局長を退任する。また、募金状況等に即した中長期計画案

を立案した。東日本大震災活動の 2 周年報告書を発行し、関係各所に配布した。

・人事

成井大介師が 2013 年 3 月末でカリタスジャパン援助部会秘書を退任する。残任期の期間（2013 年 4 月から 8 月末）は、事務局員小野亜衣子が秘書代行として業務にあたる。

2. セミナー進ちょく状況

・大阪教会管区（2013 年 3 月 17 日(日)　神戸中央教会）

現在申込者は 80 人。当日は午後 1 時までに神戸中央教会に集合。

・東京教会管区（2013 年 6 月 15 日(土)　大宮教会）

講師選出はさいたま教区が検討している。

・長崎教会管区（2013 年 7 月 15 日(月・祝)　伊万里教会）

佐賀地区、武雄市等で自死遺族支援、自殺危機介入などを行っている団体に講師を依頼することを検討している。

3. その他

・日本キリスト教社会福祉学会（2013 年 6 月 21 日(金)）について

テーマは「今日におけるキリスト教社会福祉の役割 ―希望の光が見える新たな社会づくり(2)―」で、幸田司教が午後のシンポジウムに登壇する。

・カリタスジャパンのフェイスブックページについて

1 週間で 2,000 件のアクセスがあり、約 20,000 人が見ている。その男女比は、男性 42%、女性 57%。女性では 45－54 歳までが 22%、35－44 歳までが 12%。全体では 54 歳以上が多い。

審　議

1. 第 5 回啓発部会会議議事録を承認した。
2. 2013 年度事業内容の検討

(1)啓発部会と国内援助について

啓発部会の意見を国内援助の方針やガイドラインに反映し、より良い援助へつなげていくために意見交換を行った。

(2)公開勉強会（若者の自死など）の可能性について

次回の継続審議事項とする。

次回日程

2013 年度　　第 1 回啓発部会：2013 年 5 月 14 日（火）13：30 －16:30
　　第 2 回啓発部会：2013 年 7 月　2 日（火）13：30 －16:30

■第 6 回カリタスジャパン委員会会議

日　時　　2013 年 3 月 21 日（木）11：00－16：00
場　所　　日本カトリック会館　会議室 2
出席者　　12人

報　告

1. 啓発部会

会報4月号参照

2. 援助部会

(1)インドネシアワーキンググループ会議参加と視察（3月3日－9日）

(2)カリタスアジアリーダーシップトレーニングと資金調達セミナー参加（3月11日－16日）

(3)東日本大震災対応

・仙台教区サポートセンター事務局長が4月より交代する。いくつかのベースでもベース長が交代する。

・釜石ベースは4月からNPO法人として活動する。他ベースも、地域とより連携を深めながら、サロン活動や見守りを続けている。
・カリタスアメリカ総裁（1月31日－2月2日）と、国際カリタス人道支援部長（2月27日－3月1日）が来日し、被災地と活動を視察した。

(4)2012 年度海外援助実績

2 月の援助部会までで約 51 百万円（四旬節 23、海外援助 28）の援助支出。

3. 事務局

・12-1 月度の収支・募金報告
・2012 年度クリスマス募金収入は、13 百万円となった。

審　議

1. 海外会議／視察

カリタス香港60周年記念式典（5月15日－18日）への参加が承認された。

2. 国内援助ガイドライン2013年度版について

啓発部会の意見を踏まえ、審議した。次回援助部会で継続審議する。4月の臨時全国教区担当者会議で進ちょくを報告し、11月の定例全国教区担当者会議で審議するための案を準備する。

3. 東日本大震災対応について

(1)中長期計画について、仙台教区サポート会議（2月28日）で意見交換した。ベースでの活動をメーンに、支援を長く続けられるよう各方面で努力する。

(2)活動の評価について、各ベースの活動の振り返りは毎年行い、活動全体の評価は2年後に外部評価を実施する。

(3)2013年度東日本大震災緊急支援要請(Emergency Appeal/EA)の内容が承認された。

4. 2014年四旬節小冊子について

「趣意書および四旬節献金の報告」を内容とした小冊子を作成する。4月の臨時全国教区担当者会議でも審議する。

5. 援助審査　国内（東日本大震災）1 件、海外一般 5 件を審査、承認した。

(1)HUG ハウス「南三陸におけるこころのケア活動」9,667,512 円
(2)ルワンダ「孤児支援」21,376 US ドル
(3)カンボジア「地域保健支援」30,000 US ドル
(4)モンゴル「カリタスモンゴル事務局支援」20,000 US ドル
(5)モンゴル「職業訓練センター支援」30,000 US ドル
(6)パキスタン「諸宗教対話による平和構築支援」13,303 US ドル

次回日程　2013 年 5 月 21 日（火）10:30－15:00

■第 1 回なんみんフォーラム（FRJ）運営委員会会議

日　時　　2013 年 4 月 17 日（水）14：00－17：00
場　所　　なんみんフォーラム事務局（東京・中野区）
出席者　　難民移住移動者委員会より 1 人、カリタスジャパンより 1 人

報　告

関西の難民状況および活動について

審　議

1. 難民保護法案の検討

2. 2013年度予算案の検討
3. 2013 年度事業計画案の検討
   (1) 年間計画 (2) イベント
4. 2013 年度総会および役員の改選について

正義と平和協議会

■事務局会議

日 時 2013 年 4 月 17 日（水）10：30－13：00
場 所 日本カトリック会館 会議室 2
出席者 6 人

報 告
1. パンフレット『平和憲法を守り、活かしていくために』配布状況の報告
2. 改憲反対キャンペーンについて
   内容検討と、各地の予定について確認と報告
3. スタディツアーの参加状況の報告
   東京教区正義と平和委員会主催の「福島県南相馬市体験学習」は、定員に達し、募集を締め切った。
4. 2014 年度正義と平和全国集会福岡大会について
   日時 2014 年 9 月 13 日(土)－15 日(月)
   場所 カトリック大名町教会
   6 月 2 日に第一回実行委員会を開催予定
5. 冊子『奄美のカトリック迫害と上智大学生神社参拝拒否事件』作成進ちょく状況の報告

審 議
1. 2013 年度後援会費のお願いの文案を検討した。近日中に後援会員に発送する。
2. 改憲反対キャンペーンは 7 月の参議院議員選挙の後も継続して行う。
3. 次回定例会議（5 月 21 日）の会議時間について検討した。
   会議時間は午後 1 時 30 分から 4 時 30 分となった。
4. 事務局主催スタディツアー、沖縄体験学習（6 月 20 日−23 日）の日程を再検討した。
   伊江島を訪問する。
5. 20 条の部会の事務局体制について確認した。

■NCC 女性委員会

日 時 2013 年 2 月 14 日（木）10：30－13：00
場 所 日本キリスト教会館 会議室（東京・新宿区）
出席者 カトリックから 1 人

報 告
1. 各教派、団体からの報告
2. 世界祈祷日関係の報告
3. 各委員会からの報告

審 議
1. 日・韓・在日連帯交流会議について
   日時 6 月 5 日(水)−7 日(金)

場所　宮城県仙台市内
プログラムは検討中

2. 次年度女性委員会構成員、役割について

■NCC 靖国神社問題委員会

日　時　　2013 年 3 月 4 日（月）18：00－19：30
場　所　　日本キリスト教会館　バプテスト同盟会議室（東京・新宿区）
出席者　　カトリックから 1 人

報　告

1. 各教派、団体からの報告
2. 政教分離訴訟関係の報告

審　議

1. 要請文、抗議文を検討した。
2. 2013 年度委員会の学習会の担当とテーマを検討した。
3. 委員会の役割分担を検討した。

■平和を実現するキリスト者ネット

日　時　　2013 年 4 月 8 日（月）15：00－17：00
場　所　　日本キリスト教会館　会議室（東京・新宿区）
出席者　　カトリックから 1 人

報　告

1. 会計、賛同状況
2. ニュースレター進ちょく状況
3. 集会・行動の報告

第 111 回自衛隊海外派兵中止と脱原発を求める宗教者国会要請行動（平和をつくりだす宗教者ネットより）
2013 年 3 月 19 日（火）　衆議院第二議員会館第 6 会議室
署名提出 410 筆　総数　93,870 筆
首相官邸前祈念行動

審　議

1. 第 112 回自衛隊海外派兵中止と脱原発を求める宗教者の要請行動（4 月 19 日）のための要請メンバーを検討した。
2. 5・3 憲法集会の役割分担を検討した。
3. ニュースレターの今後の予定
4. 憲法改悪反対の声明を出すことを検討した。
5. 秋に全国集会を行うことを検討した。

部落差別人権委員会

■事務局会議

日　時　　2013年4月16日（火）11：00－16：00
場　所　　日本カトリック会館　会議室4
出席者　　6人

事務局会議の前に、五十嵐弘志さん（民間非営利団体「マザーハウス」）から、刑務所内での人権問題と受刑者の社会復帰支援について話を聞いた。

報　告

1. 「なぜ教会は社会問題にかかわるのかQ &A」記念シンポジウムについて
2. ハンセン病市民学会について
「いま、『いのち』の意味を問う～ハンセン病回復者をとりまく現状と将来へのメッセージ」を全体統一テーマに、「ハンセン病市民学会第9回総会・交流集会 in 熊本」が2013年5月11日(土)－12日(日)、熊本県立劇場(熊本市)と国立療養所菊池恵楓園(熊本・合志市)で開催される。
3. 「狭山事件の真相を探る集会と現地調査～50年前の5月1日　狭山市で何があったのか？」について
狭山事件が発生したのが50年前の5月1日。今年5月1日(水)午後1時より埼玉県狭山市で集会と現地調査を行う。主催は部落解放同盟埼玉県連合会。
4. 「石川夫妻の幸せを願う宗教者の集い」について
『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議(同宗連)は、2013年5月22日(水)、築地本願寺（東京・中央区）で「石川さん夫妻の幸せを願う宗教者の集い」を開催する。集いの後、全員で築地本願寺から日比谷公園まで、狭山事件の再審開始を求めてパレードを行う。
5. 狭山事件の再審を求める市民集会について
狭山事件で石川一雄さんが逮捕されたのが50年前の5月23日。今年5月23日(木)に「狭山事件の再審を求める市民集会」が日比谷公園野外音楽堂（東京・千代田区）で開催される。集会の規模は4000人を予定。主催は狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会（代表　庭山英雄弁護士)。
6. 大阪教会管区部落差別人権活動センター（部活センター）
(1) 部活センター主催で4月13日(土)、舳松人権歴史館（大阪・堺市）見学とフィールドワークを行った。
(2) 部活センターは7月14日(日)－15日(月)、第6回対話集会「『忌避意識』それなんやねん」をカトリック大阪梅田教会(大阪教区)で開催する。
7. 部落問題に取り組むキリスト教連帯会議（部キ連）について
8. 大阪教区部落差別と人権を考える信徒の会について
9. 「同和問題」にとりくむ神奈川県宗教者連絡会議(神奈川同宗連)について

審　議

1. 夏季合宿について
部落差別人権委員会は、2013年7月27日(土)－28日(日)に「武州鼻緒騒動～人間解放へのめざめ～」をテーマに、夏季合宿を開催する。講師は藤田源市さん（武州鼻緒騒動研究会、部落解放同盟埼玉県連合会)。会場はカトリック川越研修センター「ミカエルの家」（埼玉・川越市)、宿舎は川越東武ホテル。
2. シンポジウム「福音と差別」について
2013年9月21日(土)に幼きイエス会ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）でシンポジウムを開催する。テーマは「狭山50年と国家権力」。シンポジストは中山武敏さん(狭山事件再審弁護団主任弁護人)、橋本瑠璃子修道女（聖ビンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会)、本田哲郎師（フランシスコ会)。司会

は平賀徹夫司教。

3. 全国会議について
2013 年 11 月 3 日(日)－4 日(月)に 2013 年度全国会議を開催する。会場はザ・パレスサイドホテル（京都市)。講師は朝治 武さん（歴史学者・大阪人権博物館)。

4. 2014 年春季合宿について
来春の合宿について審議した。「狭山 50 年　石川さんのあゆみ（仮称)」と題して 2014 年 3 月 15 日(土)－16 日(日)に徳島県で行う。

統一協会問題キリスト教連絡会

■事務局会議

日　時　　2013 年 4 月 5 日（金）14：00－16：30
場　所　　日本キリスト教会館（東京・新宿区）
出席者　　カトリックから 1 人

審　議

1. 日韓シンポジウムを今回は韓国で開催することになり、検討を行った。
日　程　2013 年 6 月 20 日(木)－21 日(金)
会　場　韓国教会 100 周年記念館（韓国・ソウル市）
現地主催　総会異端似以非対策委員会　委員長　チェ・ギハク牧師
日本側は約 20 人、韓国関係者は約 50 人参加予定。
韓国側の講演者は卓 志一教授。日本からの講演者について検討した。

2. 全国霊感商法対策弁護士連絡会から、世界基督統一神霊協会の徳野英治会長あてに公開質問状が送られたことが報告された。

3. 「新天地」の活動を表現した「山を移す一教会乗っ取りプロジェクト」という漫画冊子が配布され、「新天地」の日本における活動についての説明があった。

部落問題に取り組むキリスト教連帯会議

■役員会

日　時　　2013 年 3 月 5 日（火）10：30－12：30
場　所　　日本キリスト教会　大阪北教会（大阪市）
出席者　　カトリックから 1 人

報　告

1. 委員長報告
第 30 回総会時の記念講演の講師を栗林輝夫さん（関西学院大学教授）に依頼したが、辞退された。
昨年の部落解放講座における本田哲郎師(フランシスコ会)の講演を『30 年誌』に掲載する許可を同師からもらった。

2. 加盟教団報告
カトリックからは 2 月 23 日-24 日に福島県南相馬市で行った合宿で、現地視察と被災者からの聴き取りを行ったことを報告した。

3. 委員会報告

教派行政責任者部落差別問題研修会としての狭山現地学習会についての申し込み状況と、その際に東京高等裁判所および東京高等検察庁に提出する要請文の検討を行った。

4. 決議事項

・次期議長教団に日本基督教団が就任することを承認した。新年度から役員会会場を東梅田教会にする方向で調整する。

・第 30 回総会については、以下の要領で行う。

開会礼拝説教　森田幸男議長

総会議長　　日本ナザレン教団

記念講演会の講師については、カトリックの平賀徹夫司教（仙台教区）に依頼する。

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■定例会議

日　時　　2013 年 3 月 5 日（火）13：00－15：30

場　所　　日本カトリック会館　会議室 3

出席者　　7 人

報　告

『聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのマニュアル』の承認

同マニュアルが臨時司教総会（2 月 21 日）において承認された。

同マニュアルの公表方法はデスクに任された。小冊子にして 3 月末に発行予定。

審　議

中央協議会の相談システムの確立に向けて方向性を検討した。

①2013 年度は相談窓口開設に向けての準備期間とする。

②「聖職者による子どもへの性虐待」に関する相談窓口とする。

③デスク担当司教は、相談窓口担当者を任命する。

④デスク担当司教は、対応チームメンバーを任命する。

HIV/AIDS デスク

■第 1 回 HIV/AIDS デスク会議

日　時　　2013年4月9日（火）13：00－15：00

場　所　　日本カトリック会館　会議室3

出席者　　8人

欠席者　　2人

報 告

1. 社会司教委員会主催のシンポジウム（3月16日、梅田教会(大阪教区)）

菊地司教が貧困問題について発題した中に、HIV/AIDSの話を入れた。当デスクの紹介と昨年デスクが発行した小冊子『HIV/AIDSについて話したことがありますか』についても触れ、希望者に配布した。

2. 「かながわレッドリボン賞」の授賞式について
「かながわレッドリボン賞」の団体部門をカトリック中央協議会が受賞し、3月25日、神奈川県庁で授賞式が行われ、賞状と盾が贈呈された。今回の受賞は、横浜教区がAIDS文化フォーラムin横浜の企画運営に初回から19年間携わり、当デスクもHIV/AIDS啓発のさまざまな活動を実施していることが認められたもの。
3. 京都のエイズ・キャンドルパレード(5月18日)について
大阪教会管区の部落センターに参加協力を依頼した。京都の若者と交流のある横浜教区の青少年委員会にも協力を依頼した。
4. 日本カトリック神学院での特別講義の日程
HIV/AIDSについて講義をする時間を、東京キャンパスでは6月、福岡キャンパスでは10月に設けてもらった。宮本秘書が講義の準備を進める。
5. AIDS文化フォーラムin横浜の準備状況について
今年で第20回となるフォーラムは8月2日-4日、かながわ県民センター(神奈川・横浜市)で開催される。例年より早く参加申込を開始している。今までの20年を振り返るオープニング企画がある。
6. 横浜教区の青少年委員会と福祉委員会主催の研修
6月に1泊研修を行う。内容は性同一性障害やセクシュアルマイノリティー(性的少数者)について。
平良委員の講演会のDVDを使用する事を検討する。

審　議
1. デスク主催の勉強会について
開催日は10月10日の夜とする。会場は交通の便の良い所を条件に探す。テーマや詳しい時間構成は、講師の生島 嗣氏(ぷれいす東京代表、元デスク委員)と事務局が話し合う。5月にぷれいす東京から発行される体験談集などを利用して、ともに生きていることを理解する勉強会とする。
2. ホームページの改訂について
見積りについて検討し、継続審議する。
3. 今年度の活動について
横浜と京都のAIDS文化フォーラムへの参加、ICAAP（アジア太平洋AIDS国際会議）への参加、啓発ポスター・コンテストの実施について話し合った。

次回日程
2013年度第2回(第60回)デスク会議　2013年6月14日(金)13:00－15:00

中央協議会事務局

■総務

6月会議予定

4日(火)	日本盲人社会福祉施設協議会点字出版部会	日本カトリック会館
4日(火)－6日(木)	典礼音楽担当部門 第21回会議	〃
6日(木)	常任司教委員会	〃
6日(木)	神学院常任司教委員会	〃
7日(金)－8日(土)	日本カトリック大学連盟総会	エリザベト音楽大学(広島市)
7日(金)	列聖列福特別委員会	日本カトリック会館
10日(月)	カリタスジャパン援助部会	〃
10日(月)－14日(金)	2013年度定例司教総会	〃

14 日(金)	HIV/AIDS デスク会議	日本カトリック会館
19 日(水)	『司牧の手引き』編纂特別委員会	日本カトリック神学院 (福岡キャンパス)

<会報 2013 年 6 月号　公文書>

「第 47 回世界広報の日」教皇メッセージ

第 47 回世界広報の日教皇メッセージ

「真理と信仰の門、福音宣教の新たな場であるソーシャル・ネットワーク」

2013 年 5 月 5 日

親愛なる兄弟姉妹の皆様

2013 年の世界広報の日を間近に控え、現代人が互いにコミュニケーションする方法に関する、さらに重要になりつつある現実について、わたしの考えをいくつか述べたいと思います。わたしは、すべての人に開かれた広場、いわば新しい「アゴラ（広場)」を作るのに役立っているデジタル・ソーシャル・ネットワークの発展について考えたいと思います。この広場は、人々が考えや情報や意見を分かち合い、共同体の新しい関係や形態の誕生を可能にする場です。

このネットワーク空間に賢明かつ分別をもって参加すれば、その空間は対話や論議の形態の発展を促すのに役立ちます。敬意のうちにプライバシーと責任と真実性に配慮しながら対話や論議を行うとき、人々を一つにする結びつきが強まり、人類家族の調和が効果的に促進されます。情報交換が真のコミュニケーションとなり、つながりが友情へと深まり、結びつきが一致を促します。この素晴らしい可能性を実現することがネットワークに求められているとすれば、それに参加する人は誠実であるよう努めなければなりません。なぜなら、この空間では、考えや情報だけでなく、究極的にはわたしたちの存在そのものが伝えられるからです。

ソーシャル・ネットワークの発展には、かかわりが必要です。人々はかかわりを通して、人間関係を築いて友達を作り、疑問に対する答えを探し、楽しいときを過ごし、知的な刺激を受け、知識や技術を分かち合います。ネットワークは、これらの根本的な欲求のもとに人々を結びつけているので、社会の枠組みそのものの一部になりつつあります。このように、ソーシャル・ネットワークは人間の心からの願いによって育まれているのです。

ソーシャル・ネットワークがもたらす文化と、コミュニケーションの手段や様式の変化が、真理や価値について語りたい人々に大きな課題を投げかけています。ソーシャル・コミュニケーションの他のツールにもいえるように、多くの場合、さまざまな表現方法の意義と有効性は、その本質的な重要性や価値よりも、いかに人気があるかによって判断されているように見えます。人気そのものは、議論の論理よりも、知名度や説得力と結びつけられがちです。時には、物静かな理性の声が、過剰な情報の音によって打ち消されて注目されず、その代わりに、より巧妙に自己主張する方が注目されることもあります。したがって、対話、筋道だった討議､論理的な議論の価値を認識するすべての人がソーシャル･メディアにかかわる必要があります。

また、コミュニケーションに参加する人のもっとも崇高な願望に訴えるような対話や表現の形式を発展させるために尽力する人も、ソーシャル・メディアにかかわるべきです。自分と異なる考えを持つ人々と話し、彼らを真剣に受け止めるとき、対話と議論も、活発になり、発展していきます。「文化の多様化という現実を考えれば、人々は他者の文化の存在を受け入れるだけでなく、それによって豊かにされ、自分が持っているよいもの、真なるもの、美しいものを何でもそれに与えるよう望む必要があります」(「文化界会議でのあいさつ」ベレン、リスボン、2010 年 5 月 12 日)。

ソーシャル・ネットワークが直面している課題は、どうすれば本当の意味で包括的になれるかという問題です。なぜなら、ネットワークは、イエスのメッセージと、イエスの教えが推進する人間の尊厳の価値を伝えたいと望むキリスト者がすべて参加することにより、さらに発展するからです。デジタル空間においても福音を伝えなければ、その空間そのものを重要視する多くの人々の体験が、福音を欠いたものとなってしまうことを、キリスト者はますます実感しています。デジタル・コミュニケーションの世界は、パラレルワールドでも、完全な仮想世界でもなく、若者をはじめとする多くの人々の日常体験の一部です。ソーシャル・ネットワークは人間のかかわり合いの結果として生じるものですが、ネットワーク自体も、かかわりをもたらすコミュニケーションの力を新たにします。したがって、この世界をしっかりと理解することが、そこで意味のある存在となるために欠かせません。

新しい言語を駆使する力が必要とされています。それは、時勢に遅れないためだけでなく、福音の無限の豊かさが、すべての人の意識と心に伝わる表現方法を見いだすためです。デジタル・コミュニケーションの世界では、多くの場合、活字に画像や音が伴います。イエスのたとえ話にも見られるように、コミュニケーションを効果的なものにするには、神の愛の神秘と出会うよう招こうとする相手の想像力と感受性を伴う必要があります。さらに、キリスト教伝承がつねにしるしと象徴であふれていることは周知の通りです。その例として、わたしは十字架、イコン、マリア像、クリスマスの馬小屋、ステンドグラスの窓、そして教会の中の絵画を思い浮かべます。人類の芸術的な遺産のかなりの部分が、信仰の真理を表現しようとした芸術家や音楽家によって生み出されてきたのです。

キリスト者は、ソーシャル・ネットワークにおいて、自らの希望と喜びの心からの源を分かち合うことによって、自分が真の信仰者であることを示します。その源は、イエス・キリストのうちに明らかにされた、あわれみ深く、いつくしみに満ちた神への信仰です。こうした分かち合いには、自らの信仰を明確に表現することだけでなく、「たとえ具体的に言い表さなくても、……福音とまったく矛盾せずに選択し優先し判断すること」(2011 年「世界広報の日」教皇メッセージ) を伝えるという形であかしすることも含まれます。このようなあかしを行うためのきわめて重要な方法は、他者が真理や人間存在の意味を探し求めているときに、彼らの質問や疑念に忍耐と敬意をもって応じ、彼らに自分自身を喜んでささげることです。ソーシャル・ネットワーク上で信仰と信心に関する対話が深まるほど、国民的論議や社会生活における宗教の重要性と社会性が確かなものとなるのです。

信仰のたまものを心から受け入れた人々は、愛と真理といのちの意味についての人間の疑問へのもっとも根本的な答えを、イエス・キリストというかたのうちに見いだします。もちろん、ソーシャル・ネットワーク上にもその問いかけは見られます。信仰を持つ人が、デジタル空間で出会う人々に、敬意をもって効果的にその信仰を伝えたいと望むのは当然のことです。しかし、わたしたちの福音を伝える努力が豊かな実りをもたらしたとしても、最終的には、それはつねに、神のことばそのものの力によるものです。神のことばは、わたしたちのどんな働きよりも先に人々の心に触れます。わたしたちは、いかなる人間のわざよりも、つねに神の働きの力をより信頼しなければなりません。デジタル・コミュニケーションの世界では、熱く対立的な意見が交わされやすく、感情論に陥ることもありますが、そこでも、わたしたちは注意深く識別するよう求められています。このことに関して、エリヤが神の声を、非常に激しい風の中でも、地震や火の中でもなく、「静かにささやく声」(列王記上 19・11－12) の中に聞いたことを思い起こしましょう。愛し、愛されたいと望み、意味と真理を見いだしたいと望むことは、神ご自身があらゆる人間の心に刻みこんだ根本的な願いです。このことを、わたしたちは信じる必要があります。この願いが、現代に生きる人々を、福者ニューマン枢機卿がいうところの信仰の「優しい光」にいつも開かれた人とするのです。

福音宣教の手だてとなるソーシャル・ネットワークは、人類の発展をもたらす一つの要素にもなりえます。

たとえば、キリスト者が孤立感を抱くような地理的、文化的な状況において、ソーシャル・ネットワークは、世界中のキリスト者の共同体と真に結ばれているという感覚を強めることができます。ネットワークは、霊的、典礼的な資産の分かち合いを促進し、人々が同じ信仰を持つ人々をより近くに感じながら祈るのを助けます。信仰から離れている人々の問いかけや疑念に真摯に相互にかかわることを通して、わたしたちは、神の現存に対する自分の信仰と愛の実践を、祈りと黙想によってはぐくむ必要があると感じるのです。「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル」（一コリント 13・1）。

デジタル・コミュニケーションの世界において、ソーシャル・ネットワークは、祈り、黙想し、みことばを分かち合う機会を現代の人々に提供しています。しかし、このネットワークは、信仰の他の側面にも扉を開くことができます。実際、多くの人が、まさにオンライン上で始まる触れあいのおかげで、じかに出会うこと、共同体に生きること、さらには巡礼を体験することの重要性を見いだしています。それらは、つねに信仰の旅の大切な要素です。デジタル・コミュニケーションの世界で福音を伝えるために尽力するにあたり、わたしたちは祈りや典礼祭儀をささげるために教会や礼拝堂などの特定の場に集まるよう人々に呼びかけることができます。自然界、デジタルを問わず、どんな現実の中で生きるよう求められているとしても、信仰を表現し、福音をあかしすることにおいて、一貫性や統一性が欠けることがあってはなりません。わたしたちは、どんな形で他者と向き合おうとも、神の愛を地上の隅々まで伝えるよう求められているのです。

わたしは、神の霊がつねに皆様に寄り添い、皆様を照らすよう祈ります。そして皆様が福音の真の使者とあかし人となるように、心から祝福を送ります。「全世界に行って、すべての造られたものに福音をのべ伝えなさい」（マルコ 16・15）。

バチカンにて
2013 年 1 月 24 日
聖フランシスコ・サレジオの祝日
教皇ベネディクト十六世

カトリック中央協議会　「 会報 」　2013 年 6 月号　（通巻 503 号）
発行日　2013 年 5 月 20 日
発行　宗教法人カトリック中央協議会　http://www.cbcj.catholic.jp
〒135-8585　東京都江東区潮見 2-10-10　電話 03-5632-4411　Fax 03-5632-4457